



インストール後の主な設定タスク

- [Cisco ACI vPod のインストール後の主な設定作業 \(1 ページ\)](#)

Cisco ACI vPod のインストール後の主な設定作業

インストールした Cisco Application Centric Infrastructure (ACI) Virtual Pod (vPod) は、リモートロケーションで仮想ファブリックになります。これに含まれている Cisco Application Centric Infrastructure Virtual Edge はそれぞれ、オンプレミス データセンターで Cisco ACI Virtual Edge を使用する場合と同じように使用できます。

ただし、その前に Cisco ACI Virtual Pod 内の各 Cisco ACI Virtual Edge について、下記の主な設定タスクを実行します。

- アプリケーションプロファイルを展開します。このタスクでは、テナント、アプリケーションプロファイル、エンドポイントグループ (EPG)、フィルタ、および契約を作成し、ポートグループを VM に割り当てます。それからアプリケーションプロファイルを確認します。
- 分散ファイアウォールを使用する場合は、インストール後に有効にします。『[Cisco ACI Virtual Edge Configuration Guide](#)』の「Distributed Firewall」の章を参照してください。
- Cisco ACI vPod 仮想リーフ (vLeaf) で Network Time Protocol (NTP) を設定します。

Cisco.com で、『[Cisco APIC Basic Configuration Guide](#)』の「Time Synchronization and NTP」の項目を参照してください。



-
- (注) Cisco ACI Virtual Edge を Cisco ACI Virtual Pod の一部として使用する場合、Cisco ACI Virtual Pod の一部となっていない場合における機能とほとんど同じになります。詳細については、『[Cisco ACI Virtual Pod Release Notes](#)』を参照してください。
-

